

容器包装プラスチックごみの分け方・出し方

容器包装プラスチックごみの分け方・出し方

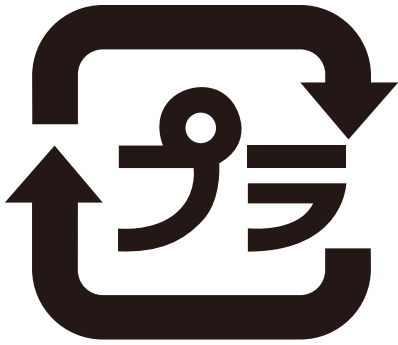
容器包装プラスチックごみってどんなもの？

商店などで購入した商品を入れてある「プラスチック製容器」（袋を含む）や、商品を包んでいる「包装プラスチック」で、中身の商品を出したり、使った後、不用となったものをいいます。

容器包装プラスチックを見分けるポイントとは？

容器包装プラスチックには、左の「プラマーク」がついています。

容器包装プラスチックかどうかの目印にしてください。



▲「プラマーク」

具体的な容器包装プラスチックごみは？

主な容器包装プラスチックは次のとおりです。

- 菓子やパンなどの袋
- 納豆や豆腐などの容器
- 肉や魚などの食品トレイ
- シャンプーや洗剤のボトル
- マヨネーズなどのチューブ
- 菌みがき粉などのチューブ
- コンビニなどの弁当容器



など

ごみとして出すときの注意点って何かあるの？

容器包装プラスチックは資源になります。容器包装プラスチックについている汚れは、洗うなどしてから出すようにしてください。特に、お弁当の容器は、そのまま捨てられることが見られません。



▲混入されていた汚れの付いたままの弁当容器

食べ残しなどがついていたり、資源に生まれ変わるものごみになってしまいます。

資源として有効活用できるように、ルールを守ったごみ出しにご協力をお願いします。

どうやって出せばよいの？

容器包装プラスチックは、透明・半透明のビニール袋か、透明・半透明のレジ袋に入れ、収集日当日、朝8時30分までに出してください。

なお、リサイクルできないプラスチック専用指定袋（緑の指定袋）は、容器包装プラスチックごみを捨てる時には利用できませんのでご注意ください。

（緑の指定袋は「その他のプラスチック」ごみの専用袋です。その他のプラスチックごみを捨てる時にご使用ください。）

容器包装プラスチックの中身の分別状況をお知らせします

容器包装プラスチックの中身が正しく分別できているか、毎週調べていますのでお知らせします。（左表参照）

容器包装プラスチックの割合は概ね80%程度ですが、ビン・ガラス、刃物、ペットボトルや汚れた容器包装プラスチックなど約20%の異物が含まれていました。

2か月の試行期間を終え、11月からは本格実施になります。さらなる分別にご理解とご協力をお願いします。

容器包装プラスチックの組成状況のお知らせ

組成分析の状況は下表のとおりです。

	容器包装比率	異物とされた主なもの
第5回	約85%	ビン、カン、ペットボトル など
第4回	約79%	可燃ごみ、ペットボトル、金属 など
第3回	約84%	ビン、カン、ペットボトル、その他
第2回	約83%	ビン・ガラス、ペットボトル、刃物など
第1回	約70%	使用済み紙おむつ、金属ふた、金属製ハンガー、汚れた容器包装プラ など

※第1回は、町職員による簡易組成状況
※容器包装比率は容器包装プラスチックごみとして出されたもののうちの異物を除いた割合